

幼児教育・保育施設整備計画の改定について

平成 29 年 8 月 17 日

藤枝市児童課

1 就学前児童数の実績値と推計値

【概要】

平成27年3月に策定した藤枝市子ども・子育て支援事業計画「ふじえだ子ども・子育てスマイルプラン21」では就学前児童数を増加傾向で推計していたが、平成29年4月時点における就学前児童数は、同時期の推計値（7,910人）よりも531人少ない7,379人であった。

このような状況を踏まえ、スマイルプランにおける人口推計値を見直すものとし、幼児教育・保育の提供区域ごとに新たな人口推計と直近の市民ニーズ等を勘案し、新たな幼児教育と保育の供給量を算出していく。

①市内全体（各年3/31現在）

（単位：人）

提供区域	実績			推計			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
北東部	1828	1857	1810	1746	1702	1653	1653
中部	1599	1603	1566	1446	1386	1309	1292
青島	2352	2280	2268	2215	2127	2082	2065
南部	1783	1790	1735	1670	1639	1604	1575
計	7562	7530	7379	7077	6854	6648	6585
スマイルプラン	7725	7861	7910	7934	7942	-	-

状況：平成25年度の7677人をピークに減少傾向にあり、6000人台になることが見込まれる。

参考：北東部：葉梨、広幡、岡部 中部：藤枝、西益津、瀬戸谷、稲葉 青島：青島 南部：高洲、大洲

② 0歳児（各年3/31現在）

（単位：人）

提供区域	実績			推計			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
北東部	252	296	259	268	275	270	273
中部	198	222	210	208	211	209	212
青島	339	345	339	341	342	341	341
南部	275	281	239	265	262	264	262
計	1064	1144	1047	1082	1090	1084	1088

状況：1100人を境に上下している状況であるが、今後は、1000人台になるものと推測。

③ 1歳児（各年3/31現在）

（単位：人）

提供区域	実績			推計			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
北東部	293	272	308	259	268	275	270
中部	275	220	242	210	208	211	209
青島	380	342	361	339	341	342	341
南部	286	289	283	239	265	262	264
計	1234	1123	1194	1047	1082	1090	1084

状況：出生数の減少により、減少傾向が続いており、転入者も鈍化傾向にある。

④ 2歳児（各年3/31現在）

（単位：人）

提供区域	実績			推計			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
北東部	308	308	273	308	259	268	275
中部	248	274	229	242	210	208	211
青島	423	394	358	361	339	341	342
南部	289	289	291	283	239	265	262
計	1268	1265	1151	1194	1047	1082	1090

状況：1歳児同様に、出生数の減少により、減少傾向が続いており、転入者も鈍化傾向にある。

⑤ 3歳児 (各年 3/31 現在)

(単位:人)

提供区域	実績			推計			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
北東部	315	309	319	273	308	259	268
中部	316	271	286	229	242	210	208
青島	396	420	386	358	361	339	341
南部	327	292	299	291	283	239	265
計	1354	1292	1290	1151	1194	1047	1082

状況：1300人台を維持していたが、転入者の減少により1300人を下回っている。

⑥ 4歳児 (各年 3/31 現在)

(単位:人)

提供区域	実績			推計			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
北東部	338	334	319	319	273	308	259
中部	289	319	271	286	229	242	210
青島	391	388	430	386	358	361	339
南部	310	330	293	299	291	283	239
計	1328	1371	1313	1290	1151	1194	1047

状況：現在は1300人台を維持しているが、転入者の鈍化傾向により、1300人を下回る見込み。

⑦ 5歳児 (各年 3/31 現在)

(単位:人)

提供区域	実績			推計			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
北東部	322	338	332	319	319	273	308
中部	273	297	328	271	286	229	242
青島	423	391	394	430	386	358	361
南部	296	309	330	293	299	291	283
計	1314	1335	1384	1313	1290	1151	1194

状況：5年連続で増加しているものの、転入者の鈍化傾向により、1300人を下回る見込み。

2 施設整備の実績と新たな保育の供給量

(1) 施設の現状

スマイルプランにおける幼児教育・保育施設、地域型保育事業所の設置状況は次のとおりです。

平成27年度当初	
①幼稚園	20園
②認可保育所	12園
③認定こども園	2園
④地域型保育事業所	10か所
保育定員数：1,705人	



平成29年度当初	
①幼稚園	19園
②認可保育所	15園
③認定こども園	3園
④地域型保育事業所	26か所
保育定員数：2,033人	

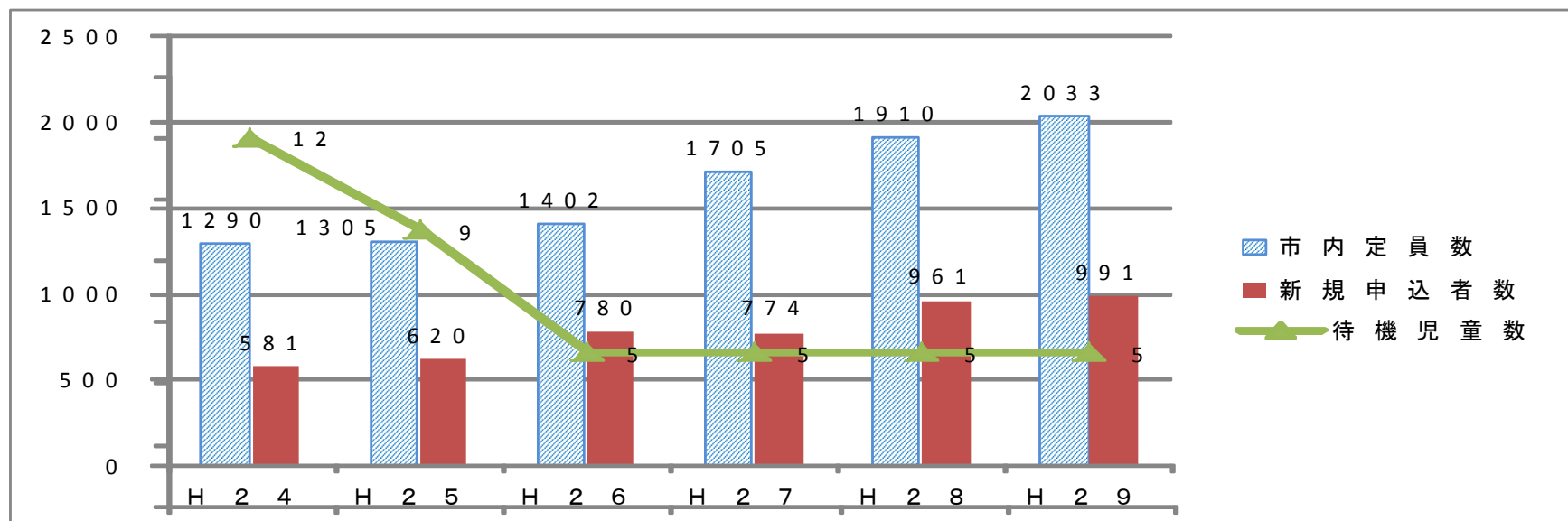


平成31年度当初	
①幼稚園	15園
②認可保育所	16園
③認定こども園	7園
④地域型保育事業所	31か所
保育定員数：2,454人	

(2) 本市における保育所申込み状況

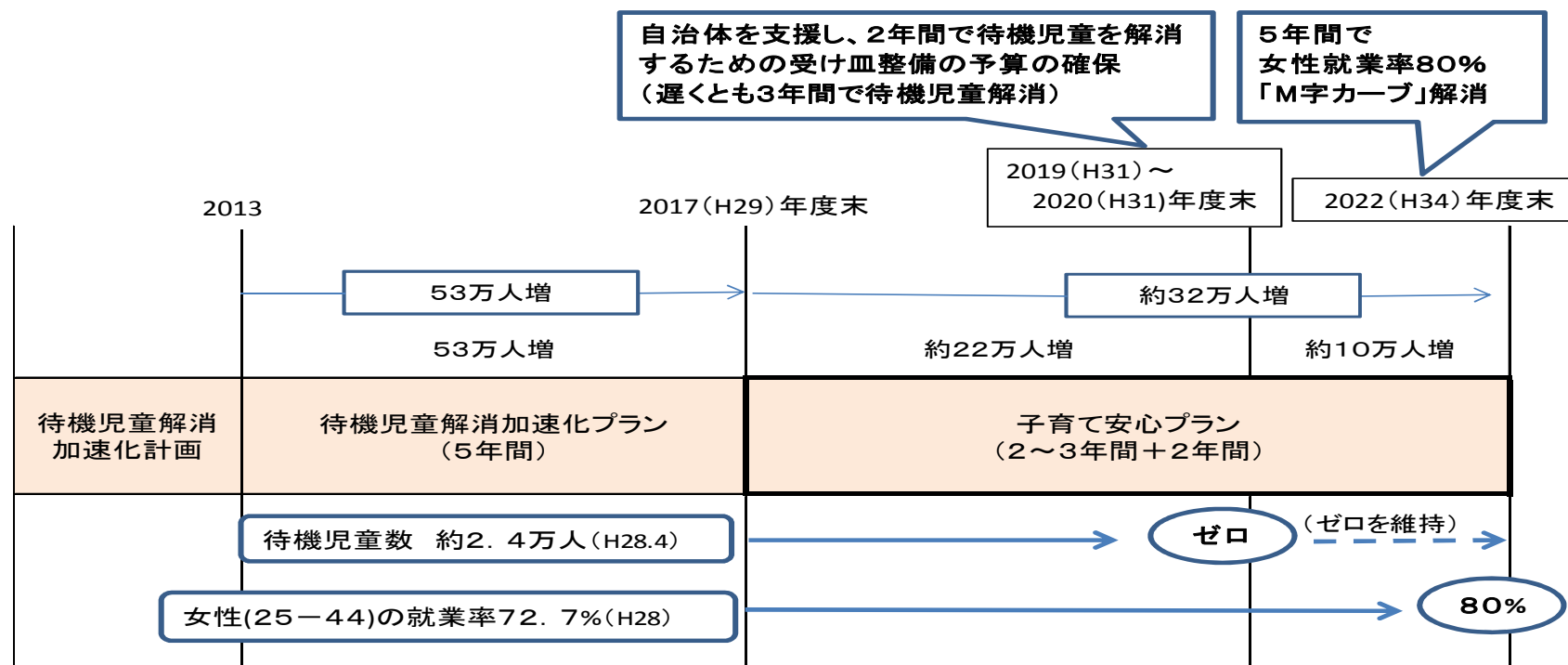
認可保育所等への新規入所申込者数は、年々増加傾向にあります。

保育所待機児童数は、新たな保育定員の確保に努め、緊急一時預かり事業などの保育所待機児童対策を補完する事業の実施等により5人を維持している。



(3) 国の動向

国は、平成32年度末までに全国の待機児童を解消するための『子育て安心プラン』を平成29年5月に公表し、待機児童解消に必要な受け皿22万人分の予算を平成30年度から平成31年度末までの2年間で確保するとともに、ニッポン一億総活躍に伴う女性就業率の上昇にも対応できるだけの保育の受け皿(10万人分)を整備することを目標に掲げた。



(4) 計画の見直しにあたっての考え方

国の「中間年の見直しのための考え方」等の指針に基づき、国の動向と最新の市民ニーズを踏まえ、必要と見込む保育の供給量を算出する。

(5) 提供区域別 保育のニーズ量と供給量

①北東部 (葉梨、広幡、岡部)

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
0歳児 (人)	252	296	259	268	275	270	273
ニーズ量 (人)	70(56)	75(57)	72(57)	72(58)	72(58)	72	72
供給量 (人)	51	53	54	60	60		
過不足 (人)	-19	-22	-18	-12	-12		
利用率 (%)	20.2	17.9	20.8	22.4	21.8		

※ () の数字は、スマイルプラン掲載値《H26年度時点の見込み値》

※過不足は、『供給量－ニーズ量』で算出

※利用率は、『供給量÷0歳児数』で算出。小数点第2位を四捨五入。

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1・2歳児 (人)	601	580	581	567	527	543	545
ニーズ量 (人)	212(219)	210(221)	235(221)	235(221)	235(221)	235	235
供給量 (人)	193	199	209	238	238		
過不足 (人)	-19	-11	-26	+3	+3		
利用率 (%)	32.1	34.3	40.0	42.0	45.2		

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
3歳以上児 (人)	975	981	970	911	900	840	835
ニーズ量 (人)	368(187)	366(201)	390(204)	390(206)	390(206)	390	390
供給量 (人)	360	360	375	390	390		
過不足 (人)	-8	-6	-15	±0	±0		
利用率 (%)	36.9	36.7	38.7	42.8	43.3		

②中部（藤枝、西益津、瀬戸谷、稲葉）

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
0歳児（人）	198	222	210	208	211	209	212
ニーズ量（人）	59(49)	62(49)	61(49)	61(49)	61(49)	61	61
供給量（人）	38	46	46	47	50		
過不足（人）	-21	-16	-15	-14	-11		
利用率（%）	19.2	20.7	21.9	22.6	23.7		

※（ ）の数字は、スマイルプラン掲載値《H26年度時点の見込み値》

※過不足は、『供給量－ニーズ量』で算出

※利用率は、『供給量÷0歳児数』で算出。小数点第2位を四捨五入。

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1・2歳児（人）	523	494	471	452	418	419	420
ニーズ量（人）	138(168)	146(174)	161(174)	161(174)	161(174)	161	161
供給量（人）	113	135	141	143	155		
過不足（人）	-25	-11	-20	-18	-6		
利用率（%）	21.6	27.3	29.9	31.6	37.1		

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
3歳以上児（人）	878	887	885	786	757	681	660
ニーズ量（人）	174(162)	165(162)	164(163)	164(164)	164(164)	164	164
供給量（人）	159	159	159	159	189		
過不足（人）	-15	-6	-5	-5	+25		
利用率（%）	18.1	17.9	18.0	20.2	25.0		

③青島

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
0歳児(人)	339	345	339	341	342	341	341
ニーズ量(人)	120(82)	119(82)	110(83)	110(83)	110(83)	110	110
供給量(人)	68	77	83	95	95		
過不足(人)	-52	-42	-27	-15	-15		
利用率(%)	20.1	22.3	24.5	27.9	27.8		

※()の数字は、スマイルプラン掲載値《H26年度時点の見込み値》

※過不足は、『供給量－ニーズ量』で算出

※利用率は、『供給量÷0歳児数』で算出。小数点第2位を四捨五入。

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1・2歳児(人)	803	736	719	700	680	683	683
ニーズ量(人)	284(287)	290(287)	320(288)	350(289)	350(289)	350	350
供給量(人)	221	267	295	337	337		
過不足(人)	-63	-23	-25	-13	-13		
利用率(%)	27.5	36.3	41.0	48.1	49.6		

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
3歳以上児(人)	1210	1199	1210	1174	1105	1058	1041
ニーズ量(人)	288(241)	285(243)	334(245)	334(245)	334(245)	334	334
供給量(人)	276	276	321	426	426		
過不足(人)	-12	-9	-13	+92	+92		
利用率(%)	22.8	23.0	26.5	36.3	38.6		

④南部（高洲、大洲）

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
0歳児（人）	275	281	239	265	262	264	262
ニーズ量（人）	43(62)	64(63)	64(63)	64(63)	64(64)	64	64
供給量（人）	23	32	35	41	56		
過不足（人）	-20	-32	-29	-23	-8		
利用率（%）	8.4	11.4	14.6	15.5	21.4		

※（ ）の数字は、スマイルプラン掲載値《H26年度時点の見込み値》

※過不足は、『供給量－ニーズ量』で算出

※利用率は、『供給量÷0歳児数』で算出。小数点第2位を四捨五入。

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1・2歳児（人）	575	578	574	522	504	527	526
ニーズ量（人）	153(219)	189(222)	232(223)	232(224)	232(224)	232	232
供給量（人）	77	127	136	160	232		
過不足（人）	-76	-62	-96	-72	±0		
利用率（%）	13.4	22.0	23.7	30.7	46.0		

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
3歳以上児（人）	933	931	922	883	873	813	787
ニーズ量（人）	135(196)	181(198)	181(199)	199(199)	201(201)	201	201
供給量（人）	126	179	179	224	266		
過不足（人）	-9	-2	-2	+25	+65		
利用率（%）	13.5	19.2	19.4	25.4	30.5		

⑤市全体

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
0歳児(人)	1064	1144	1047	1082	1090	1084	1088
ニーズ量(人)	292(249)	320(251)	307(252)	307(253)	307(254)	307	307
供給量(人)	180	208	218	243	261		
過不足(人)	-112	-112	-89	-64	-46		
利用率(%)	16.9	18.2	20.8	22.5	23.9		

※()の数字は、スマイルプラン掲載値《H26年度時点の見込み値》

※過不足は、『供給量－ニーズ量』で算出

※利用率は、『供給量÷0歳児数』で算出。小数点第2位を四捨五入。

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1・2歳児(人)	2502	2388	2345	2241	2129	2172	2174
ニーズ量(人)	787(893)	835(904)	948(906)	978(908)	978(908)	978	978
供給量(人)	604	728	781	878	962		
過不足(人)	-183	-107	-167	-100	-16		
利用率(%)	24.1	30.5	33.3	39.2	45.2		

提供区域	実績			見込み・計画			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
3歳以上児(人)	3996	3998	3987	3754	3635	3392	3323
ニーズ量(人)	965(786)	997(804)	1069(811)	1087(814)	1089(816)	1089	1089
供給量(人)	921	974	1034	1199	1271		
過不足(人)	-44	-23	-35	+112	+182		
利用率(%)	23.0	24.4	25.9	31.9	35.0		

(6) 分析結果及び確保方策

提供区域	分析結果	分析に基づく必要な拡大量
北東部	0歳児の保育定員の拡大が必要である。	0歳児 : 12人
中部	0歳児及び1・2歳児の保育定員の拡大が必要である。	0歳児 : 11人 1・2歳児 : 6人
青島	0歳児及び1・2歳児の保育定員の拡大が必要である。	0歳児 : 15人 1・2歳児 : 13人
南部	0歳児の保育定員の拡大が必要である。	0歳児 : 8人
市全体		0歳児 : 46人 1・2歳児 : 19人

※低年齢児の保育定員の増加にあたっては、低年齢児が入所後に進級することを念頭におき、上級の保育定員も併せて確保する。



考えられる確保方策

- ①新たな認可保育所（保育定員20人以上）を建設するのではなく、既存の幼稚園の認定こども園化を更に推進し、認定こども園化によって保育定員を確保する方法
- ②既存の保育施設を活用し、増築或いは定員改定によって保育定員を確保する方法
- ③保育定員19人以下の地域型保育事業所の新設などにより、機動的に保育定員を確保する方法
- ④企業主導型保育施設の誘導によって、保育定員を確保する方法
- ⑤その他、保育所を補完する事業の実施